第3期宍粟市子ども・子育て支援事業計画策定のための 子育て支援に関するニーズ調査(速報版)

1. 調査の目的

「第3期宍粟市子ども・子育て支援事業計画」策定に係る基礎資料として、就学前児童・小学生の保護者の方を対象に、子育て状況、教育・保育ニーズ、子育て支援サービスの利用状況等を把握するために本調査を実施しました。

2. 調査概要

1)調查地域:宍粟市全域

2)調查対象者:

市内在住の「就学前児童」のいる世帯・保護者 872人 市内在住の「就学児童(小学生)」のいる世帯・保護者 795人

3)調查期間:令和6年|月|0日(水)~令和6年|月3|日(水)

4) 調査方法:住民基本台帳をもとに対象児童のいる全世帯に郵送配布し、郵送 回収・WEB回収を実施

※対象児童が複数いる世帯は、年齢が一番低いお子さんに送付

3. 調査票の回収結果

| アンケート種別 | 配布数 | 有効回収数 | 有効回収率 | | |
|------------------|------|-------|-------|--|--|
| 就学前児童 保護者用調査 | 871票 | 433件 | 49.7% | | |
| 就学児童(小学生 ~6年生) | 793票 | 310件 | 39.1% | | |
| 保護者用調査票 | | | | | |

4. 調査結果の表示方法

- (1)回答は各質問の有効回答者総数(N=Number of case)を基数とした百分率(%)で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。また、0.0%は原則として表示していません。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

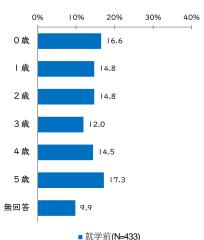
- (3) クロス集計の場合、クロス集計のキー項目では「無回答」は表示していないため、各キー項目の合計と「合計」(有効回答者総数)とは一致していません。
- (4) 就学前児童の年齢は学年齢で表示しています。小学生の学年は令和5年度 で表記しています。
- (5) 時刻は24時間制で表示しています。

1. 家族構成や保護者の就労状況について

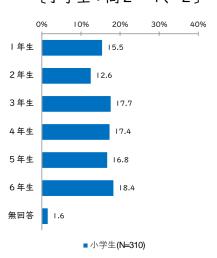
- ○お子さんの年齢(学年)に大きな差はみられません。
- ○お子さんの数は「2人」が4割となっています。
- ○「配偶者がいる」は、就学前が9割、小学生が8割となっています。

【お子さんの年齢】

[就学前:問2-I、2]

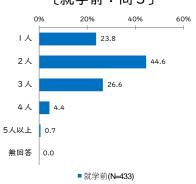


[小学生:問2-I、2]

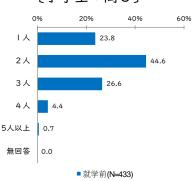


【お子さんの人数】

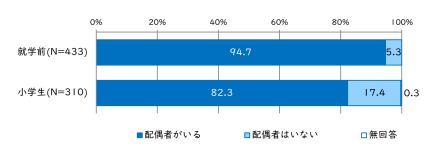
[就学前:問3]



[小学生:問3]

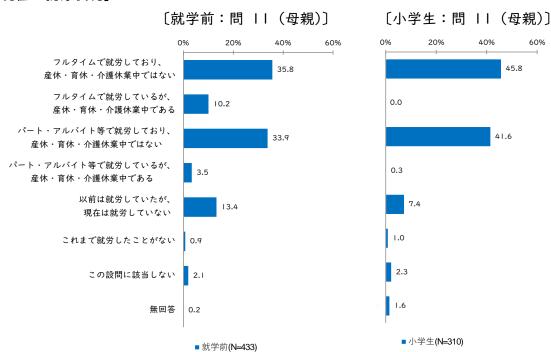


【配偶者の有無 】 [就学前:問5] [小学生:問5]

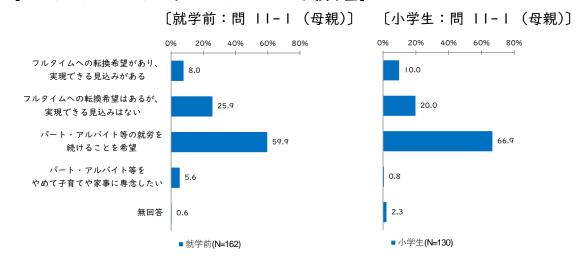


- ○母親の就労状況をみると、就学前は「フルタイム」(4割)、「パート」(3割)、小学校は「フルタイム」(5割)、「パート」(4割)となっています。
- ○就学前は、パート・アルバイトからフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(6割)、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(3割)となっており、小学生も同様の傾向です。
- ○就労していない方の就労希望では、就学前は「I 年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」(4割)と最も高く、小学生は「すぐにでも、もしくは I 年以内に就労したい」(5割)が最も高くなっており、就労意欲はより高くなってきています。

【現在の就労状況】



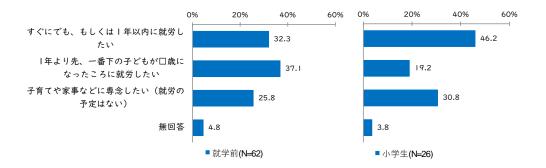
【パート・アルバイトの方のフルタイムへの転換希望】



【現在、またはこれまで就労していない方の就労希望】

[就学前:問 II-3]

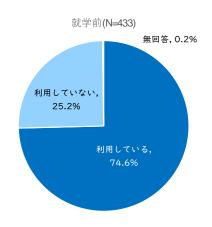
[小学生:問 II-3]



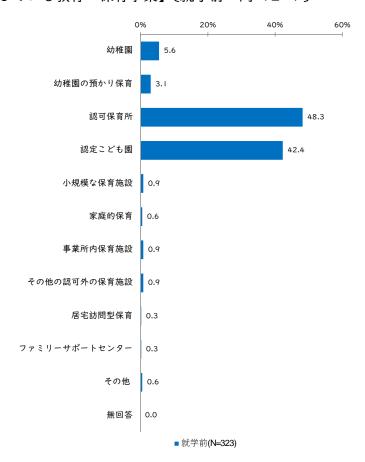
2. 定期的な教育・保育事業の利用について

○「(幼稚園や保育所等を定期的に)利用している」(7割)となっています。 ○利用している教育・保育事業では、「認可保育所」(5割)、「認定こども園」(4割) となっています。

【定期的な幼稚園や保育所等の利用】[就学前:問 12]



【平日に利用している教育・保育事業】[就学前:問 12-1]



【幼児教育・保育無償化の場合で、定期的に利用したい事業】[就学前:問 13]

| | | | 幼稚園 | 幼稚園の預かり保育 | 認可保育所 | 認定こども園 | その他の認可外の保育施設 | 小規模な保育施設 | 家庭的保育 | 事業所内保育施設 | 居宅訪問型保育 | ファミリー サポートセンター | その他 | 調査対象年齢でない利用したい事業は特にない・ | 無回答 | |
|----|-----------|----|-----|-----------|-------|--------|--------------|----------|-------|----------|---------|----------------|-----|------------------------|------|--|
| 就 | 详前(N=55) | 0歳 | 0.0 | 0.0 | 18.2 | 20.0 | 0.0 | 1:8 | 1:8 | 0.0 | 5•5 | I:8 | 0.0 | 23.6 | 27.3 | |
| 就勻 | 学前(N=127) | 歳 | 0.8 | 0.0 | 34.6 | 30.7 | 0.0 | 5•5 | 0.0 | 1:6 | 1:6 | 0:8 | 0.0 | 1 5. 7 | 8.7 | |
| 就学 | 学前(N=196) | 2歳 | 1.0 | 1:0 | 31.6 | 39.8 | 0.5 | 4• I | 0.5 | 1.0 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 10.7 | 8.2 | |
| 就当 | 学前(N=253) | 3歳 | 4•3 | 2:0 | 32.8 | 50.6 | 0.4 | 1:2 | 0.0 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 2:0 | 5•9 | |
| 就学 | 学前(N=303) | 4歳 | 606 | 2:6 | 28.4 | 53.1 | 0.0 | 0:7 | 0:3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1:3 | 609 | |
| 就学 | 学前(N=364) | 5歳 | 6.9 | 2:7 | 28.6 | 51.4 | 0.5 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1:4 | 8.2 | |

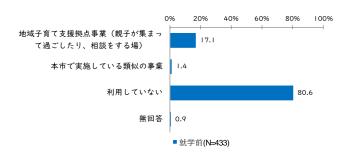
(%)

3. 地域子育て支援拠点事業について

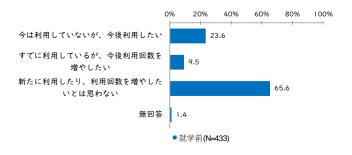
○地域子育て支援拠点事業を「利用している」(2割)ですが、「今後利用したい」と「今後利用回数を増やしたい」をあわせた『利用したい』では3割となっています。

【地域子育て支援拠点事業の利用】

[就学前:問 | 4 現在の利用状況]



[就学前:問 I5 今後の利用意向]

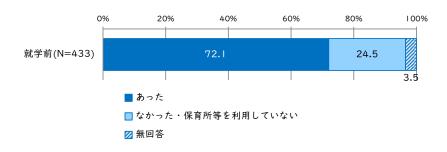


4. 病児保育や不定期の事業について

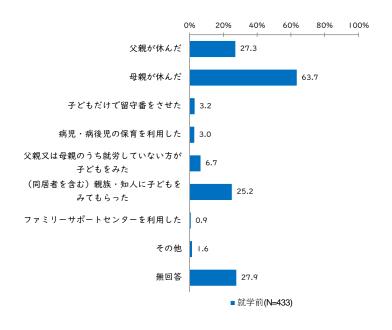
- ○風邪や感染症にかかり保育所等の利用ができなかったことでは、「あった」(7割)、「なかった」(2割)となっています。
- ○「保育所等が利用できなかった場合に、この | 年間、どのように対応しましたか」では、「母親が休んだ」(7割)、「父親が休んだ」(3割)、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(3割)となっています。

【病気やけがで、保育所等の通常の利用ができなかったことの有無】

[就学前:問 19-1]



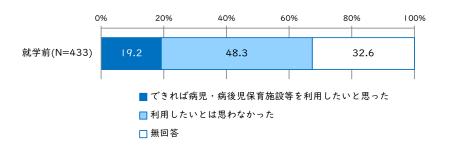
【この | 年間で、保育所等の通常の利用ができなかった時の対応】[就学前: 問 19-2]



○「病児・病後児のための保育施設などを利用したいとおもわれましたか」では、「利用したいとは思わなかった」(5割)、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」(3割)なっています。

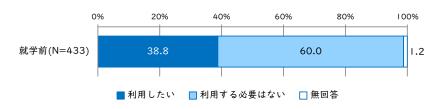
【「病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思いましたか】

[就学前:問 19-3]



○私用や通院、不定期の就労などの目的で、お子さんが不定期に利用する事業を「利用 したい」(4割)、「利用する必要がない」(6割)となっています。

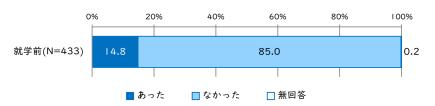
【不定期に利用する事業の利用意向】[就学前:問 21(1)]



○「この | 年間に、冠婚葬祭、家族の病気等の保護者の用事により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわないといけないことはあったかについて、「あった」(|割り)、「なかった」(9割)となっています。

【泊まりがけで家族以外にみてもらわないといけなかったことの有無】

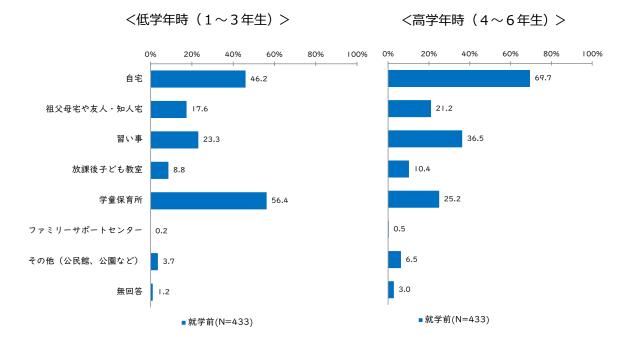
[就学前:問 22(I)]



5. 放課後の過ごさせ方について

○放課後に過ごさせたい場所については、低学年(I~3年生)の時は、「学童保育所」 (6割)、「自宅」(5割)で、高学年(4~6年生)の時になると、「自宅」(7割)、「習い事」(4割)、「学童保育」(3割)となっています。

【放課後に過ごさせたい場所】[就学前:問 23 (1)、(2)]



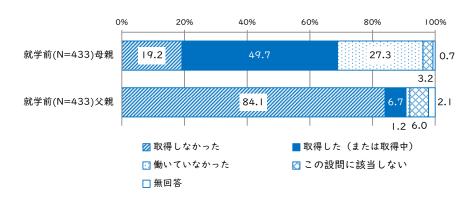
6. 育児休業など職場の両立支援制度について

〇お子さんが生まれたときに育児休業については、母親は「取得した」(5割)、「取得しなかった」(2割)、父親は「取得した」(1割)、「取得しなかった」(8割)となっています。

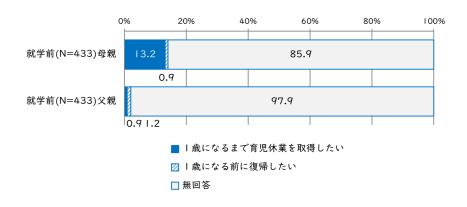
〇お子さんが | 歳になったときに必ず利用できる保育があれば、 | 歳になるまで育児休業を取得するかについては、母親は「 | 歳になるまで取得したい」(| 割)、父親は「 | 歳になるまで取得したい」(0.1 割)となっています。

【お子さんが生まれた時の育児休業取得の有無】

[就学前:問 25 (母親)、(父親)]



【お子さんが I 歳になったときに必ず利用できる保育があれば、I 歳になるまで育児休業を取得しますか】[就学前:問 25-6 (母親)、(父親)]



7. 子育て全般について

○宍粟市の子育て環境や支援への満足度については、就学前、小学生とも同様に傾向で、「満足度が低い」と「満足度がやや低い」を合わせた『満足度が低い』は3割、「満足度が高い」と「満足度がやや高い」を合わせた『満足度が高い』は2割、「満足度は普通」は5割となっています。

【子育て環境や支援への満足度】[就学前:問 26][小学生:問 21]

